

感 対 第 3 5 3 - 3 号
令 和 5 年 6 月 6 日

さいたま市
川 越 市
川 口 市
越 谷 市

保健所長 様

埼玉県保健医療部感染症対策課長 山口 隆司
(公印省略)

新型コロナウイルス感染症の入院調整等にかかる
「医療機関等情報支援システム (G-MIS)」の積極的活用について (依頼)

本県の感染症対策の推進につきましては、日頃格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

令和5年5月8日に感染症法上の分類を5類感染症に移行した新型コロナウイルス感染症については、移行期間において幅広い医療機関で入院含め、診療に対応いただけるよう各種事業を推進しているところです。

その中で、「医療機関等情報支援システム (G-MIS)」を各医療機関で入院調整等に積極的に活用いただくため、添付のとおり操作手順書を作成しましたので、貴市での医療機関同士の連携強化に御活用ください。なお、当該手順書について埼玉県医師会長から各会員への周知は別途通知していることを申し添えます。

また、貴市での5類移行後の入院調整等に係る管内関係者との検討や課題の整理等、現時点での状況について、別紙により令和5年6月13日(火)までに回答してください。

担 当 : クラスター対策担当 山縣・赤羽
連 絡 先 : 048-830-8335
F A X : 048-830-4808
アドレス : a7500-21@pref.saitama.lg.jp

【参考】

withコロナからポストコロナへ ～新型コロナ5類移行に向けたロードマップ～

		～5月7日	5月8日～
医療提供体制	外来	診療・検査医療機関として患者を診察	幅広い医療機関で「患者を限定せず診察」するよう促進 ・診療・検査医療機関として公表を継続 ・感染対策の見直しの周知、設備整備等の支援を継続
	入院	患者受け入れ医療機関の拡充、移行計画の策定	幅広い医療機関での受け入れ促進 ・个人防护具の使い方や病室単位での感染対策の見直し、設備整備等の支援を継続
		県による病床確保の継続 ・軽症・中等症（～6月末） ・重症（～9月末）	
入院調整	病診連携・病病連携に向け検討、移行計画の策定	病診連携・病病連携を原則とした入院調整 ・軽症・中等症は、病診・病病連携で入院依頼 ・入院可能な状況を医療機関等が確認できる仕組みを活用 重症患者は、行政が支援 コーディネーター等が助言	

埼玉県知事記者会見 令和5年5月2日 ⑤

『幅広い医療機関での受入促進』に向けた現時点までの取り組み状況

1 5類移行に向けた病院向け感染症対策研修会（ZOOM 研修+動画配信）

対象：これまで受入病院になっていない210病院

内容：【医師・管理者向け】

日時：令和5年4月26日（水）18：30～20：00

講師：さいたま市民医療センター 坪井先生

埼玉医科大学病院 樽本先生

【看護・管理者向け】

日時：令和5年4月28日（金）18：30～20：00

講師：さいたま市民医療センター 坪井先生

国際医療福祉大学大学院 坂木先生

2 専門家派遣事業

対象：これまで受入病院になっていない病院のうち希望する病院

内容：派遣先医療機関の状況に基づき、感染管理体制、院内の動線、標準予防策、職員管理等の指導を行う

派遣状況：保健所管内別（5/29時点 7病院）

東松山	狭山	熊谷	さいたま市	川口市	越谷市
1	1	1	1	2	1

3 その他

※県医師会において、各郡市地区医師会との検討会議を令和5年5月15日に開催し、各地区医師会での取組状況等の共有が行われた。